

いの流水俳壇

「当季雑詠」

特選

捨畑に夕風集め枯尾花

刈谷 志津選

川村 博子

〔評〕近頃の若者たちは都会へと出て行く。特に山里では高齢者のみの過疎化が進み、畑の耕作が出来ない状態で見捨てられてゆく畑を作者は「捨畑」と詠んだ。「枯尾花」とは穂も葉も枯れ果てた薄のことで、いつの間にか白くほうけた薄の穂が畑一面を陣取り、夕風に揺れ合う白い輝きは、寂しさの中にある薄の終の美しさでもある。この山里の現状に捨てがたい思いが込み上げる。しかし、これが移り行く時代の姿なのだとしに刻む。昔、歌詞も曲も怪しい（野口雨情作詞）「俺は河原の枯れすすき、同じお前も枯れすすき」と哀愁をこめた演歌が思い出される。一抹の淋しさを秘め変わりゆく里の景色を捉え、現況がよく見え、伝わる優れた一句。

落ちるらん鈴生りの柿じつと見る

渡邊ゆかり

〔評〕柿は葉が落ち尽くと、明るい柿色（赤茶色）に熟れて美しい晩秋の里の彩りを作り出す。昔はすべて渋柿だったらしいが、現在には甘柿の種類も十指に余るほど。柿には生り年（果実がよくなる年）と裏年がある。これを隔年結実と言う。今年が生り年で、どの木も鈴生り（多く群がって実をつけること）。先月の台風21号の強風にも落ちることなく鈴生りのままで、人々の目を楽しませている上五「落ちるらん」は、落ちるであろうと思いつつも落ちないで欲しい。しかし、何れは落ちるが定め、とは言え、柿の実は熟れると早く取るのが木の保護に繋がるとされている。複雑な思いで見守っている作者。物の捉え方、見方、表現に新しさを感じる佳句。

開け放ち木犀の香の欲しいまま

津田 久美

〔評〕木犀は薄褐色の幹の樹皮が、動物のサイ（犀）の皮に似ていることから木犀と言われている。この花は、晩秋になると辺り一帯に芳香を放つ。金木犀・銀木犀があり、花は小花で広く庭木として

植えられ、常緑樹で開花期の香は息を呑むほどすばらしい。

作者は視力が減退し、遠景は限られているとのこと。しかし香りに敏感で、深呼吸し、木犀の木の近くで香の届く窓をいつぱいに開け、思いのままに香りを全身に纏い清々しい気分になる。作者の同時出句に「椋鳥の 群視野限り 広がりぬ」がある。「視野限り」で作者の視野が狭まっていることがわかる。それでも精一杯目を開いて写生句に挑戦する姿勢に感動を覚え、下五「欲しいまま」の借辞に嬉しさのあふれる一句。

入選

天降りくる冬日稜線正しうす
村おこし稲架ふんばつてゐたりけり

植田 紀子

仕合せはほどほど雑草露光る
晩秋の車窓に咲かす雨の粒

片岡 包女

あがるまま生きて初秋の風入れる
晩秋やカッタグラスの日は斜め

島村かりん

塀を越し燃ゆるカンナが空染める
立冬の蛇口の水の硬かりき

大川 節弥

岡村 嘉夫

一句抄

虫の声遠く近くに杖を引く
街角のたばこ屋いわし雲飾り

片岡 包女

あかつきに雫をこぼす式部の実
秋雨や重機動かぬ一日暮れ

東谷 晴男

ハロウィン親も仮装に力んでいる
祖に供う柿の生り年告げながら

島村かりん

もみじ葉の神の御手なるグラデーション
人影の消えし砂丘の秋の風

大川 節弥

航空便北の便りのリングゴ箱
山歩きあげび探して西東

岡村 嘉夫

揺り椅子は癒しの時間小鳥来る

川村 博子

次題「当季雑詠」 締切／毎月1日

投句先 教育委員会事務局

いの町1700-1 ☎893-1922

今のごとも川柳

えんそくだ てんきよほうと ならめっこ

伊野小 4年 宮崎 礼奈

〔評〕みんなが楽しみにしている遠足。天気予報が気になりますね。どうかよい天気でありますように、その気持が「てんきよほうとならめっこ」のことにこめられています。

学校で 元氣なあいさつ めざましだ

川内小 3年 柏井 美桜

〔評〕元氣な朝のあいさつは、まるで眠気をふとばすめざましのようなと表現しました。きつと気持のよい一日だったことでしょう。

幅飛びで 飛んでも飛んでも 2メートル

伊野南小 6年 川江 晃弘

運動会 嬉し涙と くやし泣き

伊野南小 6年 大久保川里

みんなのえ みんなちがって おもしろい

枝川小 2年 福原 陽花

3学期 テスト多くて きついなあ

枝川小 5年 鮫島 優太

図書室は 別世界への 入口だ

伊野小 6年 久保 慶悟

ありがとう 笑顔がふえる 一言だ

伊野小 6年 澤田 葉月

えん筆を 持ったら何か 書けそうだ

伊野小 6年 滝石 大翔

友達と 笑えば冬も あったかい

伊野小 6年 畑山 莉晏

「ごとも川柳」は町内全小学校の児童のみなさんを対象に募集しています。次回提出締め切りは1月10日（水）です。たくさんの方のみなさんの応募をお待ちしています。（応募は各小学校を通じてお願いします。）

※ 選評は、川柳連会のみなさんをお願いいたします。